

**製品名: OCLN ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21373**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:59kD;Observed MW:65kD

**抗原情報**

遺伝子名	OCLN
別名	
遺伝子 ID	100506658.0
SwissProt ID	Q16625
免疫原	-

**背景**

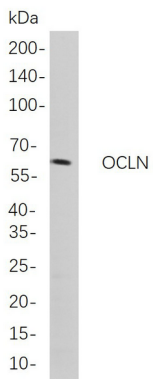
細胞局在: 膜。この遺伝子は、サイトカイン誘導性のタイトジャンクション細胞透過性バリエーションの調節に必要な膜貫通タンパク質

をコードする。この遺伝子の変異は、擬似 TORCH 症候群としても知られる常染色体劣性神経疾患である、単純化回旋および多小回旋を伴う帯状石灰化 (BLC-PMG) の原因と考えられている。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。関連する擬似遺伝子は、5 番染色体の q 腕の 1.5 Mb 下流に存在する。[RefSeq 提供、2011 年 4 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



OCLN ウサギ mAb を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。